

里見氏関係文書一覧

No	史料名		年代	品質及び形状	寸法(縦×横cm)	内容	所有者(管理者)
1	上野文書	上野助国坊屋敷寄進状	大永6(1526)	楮紙 裏打	25.4×32.8	朝夷郡の円蔵院へ屋敷を寄進したもの。	館山市立博物館
2		北賢哲書状		裏打	34.0×35.2	常陸佐竹氏一族の佐竹賢哲から正木大膳亮に対して、佐竹家と里見家が上杉謙信とともに今後もお互いに協力していくことを伝えたもの。天正3(1575)年頃。	
3		北賢哲書状		楮紙 未装	35.2×31.0	佐竹賢哲から里見家の客臣太田新六郎に対し、里見家が今後も佐竹家と上杉謙信に協力するよう仲介を求めたもの。天正3(1575)年頃。	
4		北条氏政書状	天正10(1582)	未装	32.0×40.4	里見義頼の家臣上野筑後守が、甲斐国で徳川家康と対陣する北条氏政より援軍の礼を述べられたもの。	
5		幸田定治書状	天正10(1582)	楮紙 裏打	19.8×30.0	家康と氏政の和睦により、氏政の家臣幸田定治より上野筑後守に対し、前線から撤退するよう伝えられた。	
6		正木時茂感状	天文2(1533)	楮紙 裏打	32.2×16.0	里見家の内訌で、義豊の軍と戦った上野弥次郎が、正木時茂より手柄をほめられ、親の跡目相続を認められたもの。	
7		正木堯智書状		楮紙 裏打	31.8×41.0	上野筑後守に対し、某所の山で炭を焼かせるように依頼したもの。	
8		里見義豊書状		楮紙 裏打	28.8×19.2	大永6(1526)年頃、家臣の中里中務少輔に軍船の準備を命じたもの。	
9		里見義頼書状		楮紙 裏打	31.2×36.4	上野内匠助に朝平南山で木を百本伐るよう命じたもの	
10		里見義頼書状		楮紙 裏打	27.8×37.0	上野源八に館山城の警備につくよう命じたもの。	
11		里見忠義知行充行状	慶長11(1606)	楮紙 裏打	34.2×49.2	上野七左衛門に鹿嶋郡で所領51石を与えたもの。	
12		閑間仲国書状	慶長19(1614)	楮紙 裏打	32.6×44.4	倉吉移封により、同族の上野七左衛門に財産の処分を依頼し、殿様の後を追って伯耆へ向かう様子を伝えている。	
13		閑間仲国書状		楮紙 裏打	33.0×45.6	上野七左衛門に館山の屋敷のことを頼んでいる。駿河から送っている。	
14	鳥海文書	北条家印判状	天文23(1554)	楮紙 卷子	30.2×38.2	天羽郡峰上城の吉原玄蕃助ほか廿二人衆に対し、里見氏との戦いでの忠節を求め、また功績に応じて褒美を出すことを伝えたもの。	
15		北条家印判状	天文24(1555)	楮紙 卷子	30.2×38.0	天羽郡峰上城の吉原玄蕃助に対し、里見氏との戦いでの忠節を求めたもの。	
16		北条家印判状	天文23(1554)	楮紙 卷子	30.6×38.6	天羽郡峰上城の吉原玄蕃助ほか廿二人衆に対し、里見との戦いのための兵糧を送ったもの。	
17		北条家印判状		楮紙 卷子	27.8×42.0	天羽郡峰上城の吉原玄蕃助が、里見氏との戦いで長狭へ討ち入ったことへの感状。	
18		北条家印判状	天正14(1586)	楮紙 卷子	32.2×41.4	北条氏の水軍の頭である梶原備前守・山本信濃守に、東金へ船を回すよう命じたもの。	

里見氏関係文書一覧

No	史料名		年代	品質及び形状	寸法(縦×横cm)	内容	所有者(管理者)
19	鳥海文書	北条氏関所手形	永禄3(1560)	楮紙 卷子	31.6×40.2	正木兵部太輔の家臣による富士参詣のための関本通過足柄峠越えを許可したもの。	館山市立博物館
20	村田文書	里見義康朱印状	天正20(1592)	楮紙 卷子	16.8×51.0	革職人への所領充行状。	
21	坂本文書	里見義頼受領拳状	天正12(1584)	楮紙 卷子	21.1×36.7	家臣の糟屋氏に但馬守の受領を与えたもの。2巻の1。13通の7。	
22	購入文書	里見義頼朱印状		楮紙 未装	33.6×44.6	上総一宮の蘆屋右衛門尉に所領を安堵したもの。	
23		里見義頼書状		楮紙 未装	22.5×45.8	酒肴の贈り物に対する礼状。折紙半折白地切落し。宛所切落し。	
24		徳川秀忠書状		楮紙 軸装	17.7×42.6	里見義康宛の節句祝いの礼状。折紙半折白地切落し。	
25	石井文書	里見義頼社領寄進状	天正12(1584)	楮紙 折帖	31.9×38.9	手力雄神社の社殿造営で社領が質に出されたことから、里見家がそれを請け返したもの。宛所切落し。	個人蔵 (館山市立博物館寄託)
26		里見義康社領寄進状	天正19(1591)	楮紙 折帖	35.3×37.1	安東で手力雄神社の社領を寄進したもの。宛所切落し。	
27		里見氏社領寄進状	天正18(1590)	楮紙 折帖	32.0×37.1	豊臣による指出検地で神主の給分が脱落したので、それを新たに保証したもの。宛所切落し。	
28		里見家寄進社領目録	天正19(1591)	楮紙 折帖	31.0×39.8	手力雄神社の社領の明細を神職の藤右衛門尉に伝えたもの。	
29		時通書状		楮紙 折帖	32.6×32.4	手力雄神社に供物を寄進し、吉日に御札守をくれるよう伝えたもの。正木時通と考えられる。	
30	大野文書	里見忠義知行充行状	慶長11(1606)	楮紙 裏打	34.0×38.8	百人衆大野太郎兵衛に広瀬村で所領50石を与えたもの。	個人蔵 (館山市立博物館寄託)